

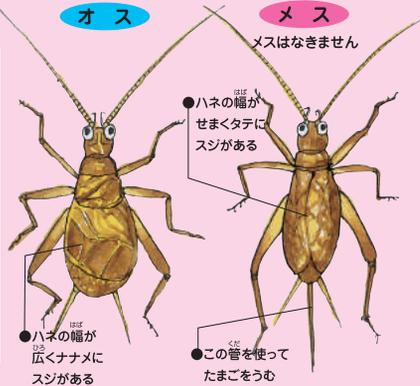
美しい声のスズムシについて

スズムシはコオロギ科のこん虫で、北海道をのぞく全国にいます。秋にはオスがきれいな声でなきます。

なき方



オスがなく時は、ハネを垂直に持ちあげ、すりあわせてなきます。



あれっ! ふしぎ?

★温度に合わせてなき方を変える!

あつい夏はなき方がはやく、涼しくなるとゆっくりなきます。エアコンのきいた部屋でためしてみるとわかるヨ!

- あついとき **リーンリーンリーン**
- 涼しいとき **リーンンリーンン**

★前足に耳がある!

スズムシやコオロギもお互いのなき声を耳で聞きます。なんとその耳は前足にあるのです。



スズムシのエサ<カルシウム強化配合>

スズムシに必要な栄養分に、カルシウムを強化配合。いい声でなき元気に育ちます。

- スズムシが食べやすいフレークタイプ

●35g



株式会社キョーリン 本社: 〒670-0902 姫路市白銀町9番地
Tel. (079) 289-3739
ホームページアドレス: <http://www.kyorin-net.co.jp/>



キョーリン
飼育教材

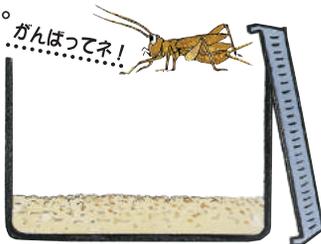


さあ、スズムシのいえをつくらう

スズムシは自然では草むらなどにいます。飼う時は湿気を保ってあげましょう。

1 まずは容器を用意しよう!

フタのある水槽が大きめのガラスビンを用意しましょう。砂土は古いフライパンで焼くか、直射日光でさらし、10cmくらいの深さにしてください。



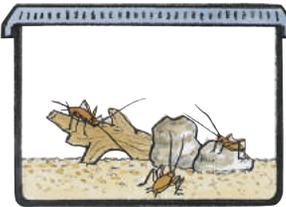
2 がくれる場所をつくってあげよう!

石や木片などを入れてかくれる所をつくってあげましょう。



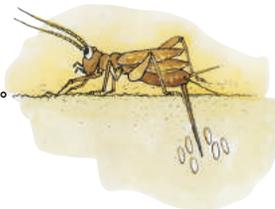
3 砂土が乾かないように!

容器は日が当たらず涼しいところへ置きましょう。砂土が乾かないようときどきしめらせてください。このとき、スズムシには水をかけないでネ。



たまごを生んだら

9~10月ごろメスが土の中に何回もたまごを生みます。冬になるまでにオスもメスも死んでしまうので、その後、土の上をそうじし、ケースをビニールでおおい、温度の低いところに置いてください。春には幼虫が生まれます。砂土が乾かないように注意してください。



何回もへんしん

おとなになるまでへんしんをくり返します。



まだハネがありません。6月初めころ。

小さいハネができる。

おとなになったばかりのときは、ハネがまっ白。

とぶためのハネがありますが、成虫になるとハネがとれます。8月頃に完全な成虫になります。

エサの与え方

1日1回小さに入れて与え、毎日とりかえましょう。また、ナスやキュウリなどの野菜で、水分を与えましょう。

※植物ばかり与えていると共食いするので注意しましょう。

容器のそうじは1週間に1度、土の上のふんなどをとるようにしましょう。

※蚊とり器具や殺虫剤を近くで使わないでください。

